

奈良医大 Nara Medical University newsletter

キャンパスだより

2017
vol.5
春号

奈良県立医科大学に関する様々な情報を、地域のみなさまにお届けします



Topics

- ・「奈良県立医科大学の将来像」および「キャンパス整備イメージ」を作成しました
- ・地域と連携した取組(IMAICHO Kimono Jazzgl in Spring)
- ・健康情報 リンパ浮腫について

イベントなどのお知らせ

- ・公開講座
- ・院内コンサート

「奈良県立医科大学の将来像」と「キャンパス整備イメージ」を策定しました

公立大学法人奈良県立医科大学 理事長・学長 細井 裕司



本学は、今、教育・研究部門の新キャンパスへの全面移転と、現キャンパスでの附属病院施設の抜本的充実を図るとい創立以来の大プロジェクトに取り組んでいます。

キャンパスの整備にあたっては、長期的視点から本学のあるべき姿を見据え、それを実現するために何が要るのかという観点で検討する必要があります。

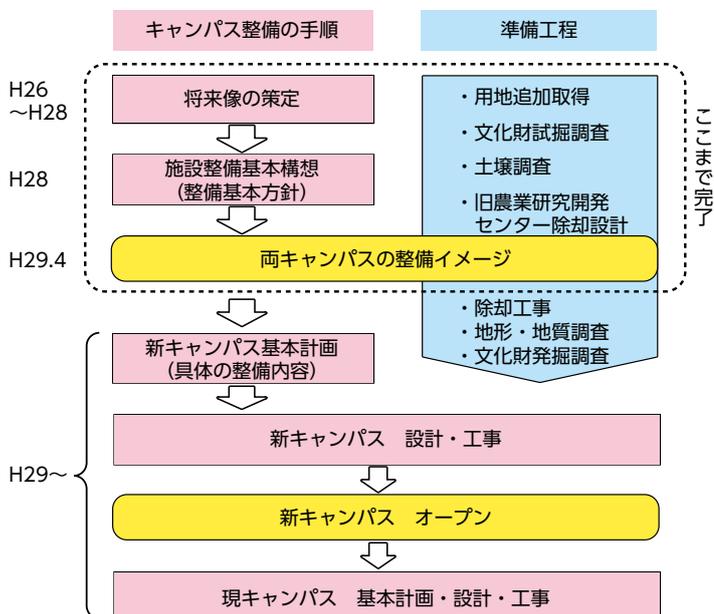
そのため、キャンパス整備に先立ち、奈良県と共に三年余りにわたって、新しいキャンパスで我々が目指すべきものは何なのか、本学の数十年先のあるべき姿について検討を重ね、この度、その成果を「奈良県立医科大学の将来像」として取りまとめました。

将来像は、「教育」、「研究」、「診療」とそれらを支える「法人運営」の四つの分野について、根本を定めた「理念」と、それを実現するための「方針」で構成しています。

これらは、各分野ごとに、本学を取り巻く環境の変化と新たな課題・ニーズを踏まえ、改めて本学の意義と役割を明確にしつつ、その実現に向け、どのように変わっていく必要

があるのかを追求した成果であり、概要を次ページに紹介しています。

そして、各分野の理念を総合的、端的に表現するものとして、「建学の精神」を新たに定めました。創立から七十余年を経て「建学の精神」というのは、奇異な感を持たれるかもしれませんが、その七十余年の実績を踏まえ、本学が将来に向けてどう進んでいくべきか、原点に立ち返って今問うことに意味があると考え、敢えて「建学の精神」と名付けることといたしました。



また、将来像の達成という共通の目標に向けて教職員が一丸となるため、将来像を象徴する本学のシンボルマークを新たに制定するとともに、県民、地域の皆様に信頼され、親しまれる大学となるよう、本学のイメージキャラクター「しろうとくた医師くん」を決定いたしました。

本学は今後、この将来像を現実のものとし、本学に関わる全ての方の期待に応えられるよう、全学一丸となって取り組んでいくとともに、その実現の場となる新キャンパス・現キャンパスの整備を着実に進めて参りますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

「奈良県立医科大学の将来像」の概要

建学の精神

**最高の医学と最善の医療をもって
地域の安心と社会の発展に貢献します**

シンボルマーク

奈良県立医科大学のイニシャル「N」をモチーフにしたもので、二重の円弧は医学と看護学の支え合う関係を意味し、そこから伸びる葉形は医療人としての成長・未来への飛躍をイメージし、本学が発展していく様を象徴しています。



各分野の理念

教 育

豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指します。

研 究

研究の成果を患者への最善の医療に生かし奈良県民の健康増進を図るとともに、最先端の研究により医学の進歩に貢献します。

診 療

患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、地域との緊密な連携のもとで奈良県民を守る最終ディフェンスラインとして、安全で安心できる最善の医療を提供します。

法人運営

最高の医学の追究、最善の医療の追求を使命として、互いに連携しながら自らの職務に誇りと情熱をもって取り組み、課題に対して自ら行動できる人材を確保・育成することで、教育・研究・診療の理念を実現し、発展し続ける法人運営を実践します。



イメージキャラクター

歴史上数々の偉業を成し遂げた奈良県にゆかりのある聖徳太子がモチーフ。

【名前】しょうとくた医師くん

キャンパス整備イメージを作成しました

将来像の策定と並行して進めて参りましたキャンパス整備の検討について、新キャンパス・現キャンパス双方のキャンパス整備イメージを作成いたしました。

これは、現施設を基本としつつも、学生数を始めとする諸環境の変化、今後求められる新たな機能なども勘案して描いたものです。

新キャンパスは、歴史の香漂うここ榎原の地（県農業研究開発センター跡地）で、かつての藤原京の中に位置するという歴史的な背景も踏まえ、奈良への愛着を醸成し、本学ならではの医学教育を実践する場になさわしい姿として、藤原京をモチーフとしたゾーニング、デザインを取り入れることを想定しています。

北東からの両キャンパス航空写真



新キャンパス 大学本部棟から前庭、正面玄関を見たイメージ



また、藤原京の大極殿院（だいごくでんいん）とその朝廷（ちやうてい）になぞらえた大学本部棟と前庭を中央に据え、正面玄関となる南側に畝傍山を望むキャンパスイメージとなっています。

教育・研究部門が移転した後の現キャンパスには、附属病院南側への新駅の設置を想定し、現施設南側に外来診療施設等からなる新しいA病棟を整備するとともに、来院者の利便性向上のために敷地内に立体駐車場を整備することを想定しています。

これらは、あくまでも今後、整備内容を具体化していくためのたたき台として、現時点での検討イメージを表したものです。今後の展開にご注目ください。



新キャンパス 南東からの俯瞰イメージ



現キャンパス 南西からの俯瞰イメージ



奈良医大の地域と連携した取組を紹介します

IMAICHO Kimono Jazzgl in 2017 Spring

平成29年5月14日、今井町の順明寺「Kimono Jazzgl in 2017 Spring」が開催され、奈良

賑わっている会場の様子



医大から軽音楽部のHARD STREAM ORCHESTRAが出演しました。「Kimono Jazzgl」は伝統あるまちで、文化、芸術そして医療を融合させた「心のバリアフリー」を体験できるイベントを目指し、今井町じゃず実行委員会と伝統と文化を守り続けてきた今井町並み保存会等が企画・運営するジャズイベントです。

今回で第6回目の開催となった本イベントでは、オープニングセレモニーで書道家の若林 梅香さんと本学 HARD STREAM ORCHESTRAによる着物での演奏と書道のライブパフォーマンスが行われました。

その他にもロアナシーフラさんやMITCH ALL STARSさんが出演され、プロフェッショナルな音楽を感じることができました。

演奏の他にも奈良医大東洋医学研究会による健康茶の提供や、MBT (Medicine based town: 医学を基礎とするまちづくり) 研究所と早稲田大学による体毛細血管像の形状や組織液の汚れなどを確認することができる血管チェックや脂肪率、筋肉量、筋肉スコアなどを測定するボディチェック、奈良医大附属病院緩和ケアセンターによるハンドアロママッサージなどの医療ブースが展示され、地元の方々との交流が行われました。



奈良医大の HARD STREAM ORCHESTRA の演奏

当日はまさに五月晴れを感じる気候となったこともあり、大変な賑わいを見せ、伝統とアート、笑い、そして心のふれ合いによる、癒しの一日となりました。

リンパ浮腫の症状を軽減し、悪化しないセルフケアを支援します

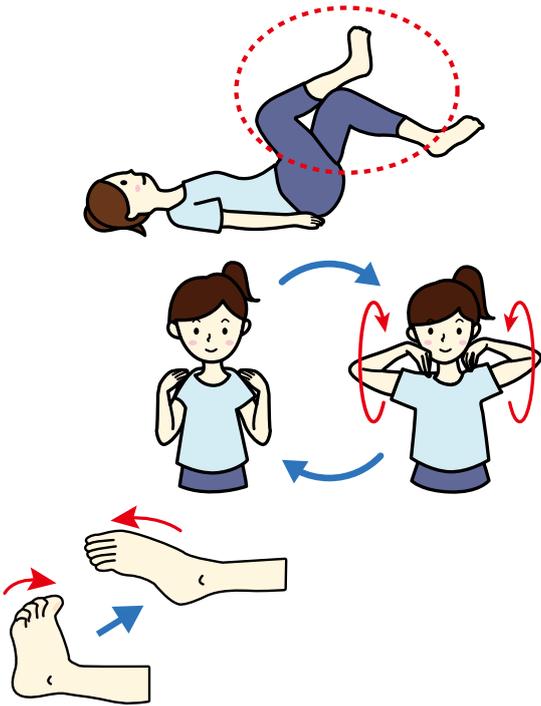
今号から健康情報を掲載します。

5 大疾病と言われるがん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患のうち、第1回目は、がんに関する情報をお届けします。

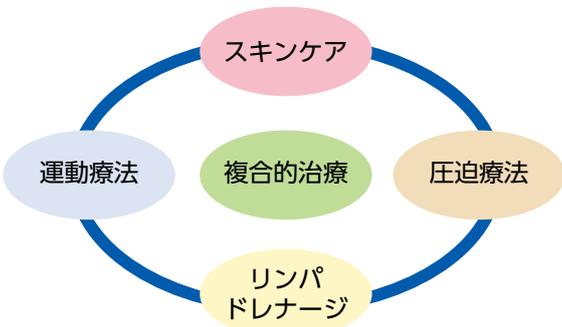
がんの治療において、手術でリンパ節を取り除いたり放射線治療によってリンパの流れが停滞することで、腕や脚がむくむことがあります。このむくみをリンパ浮腫といいます。がんの治療以外でも原因はたくさんありますが、そもそも、リンパ浮腫とはどのようにして起こるのでしょうか。

人間も動物のように這っていれば簡単にむくむようなことはなかったのですが、人間が立って歩くようになったために、脚がむくんだりするようないことが生じるようになりました。むくみは血管外の組織

リンパ浮腫に効果的なストレッチ



リンパ浮腫に悩む患者さんに正しい知識と治療を提供します



問い合わせ

奈良県立医科大学附属病院A棟2階
リンパ浮腫外来 (9時~16時)

TEL 0744-22-3051 (内線3361・3360)

に過剰に溜まった水分です。つまり、血管外の過剰な水分(むくみ)を減らすためには、まず静脈の機能を活性化させ、それからリンパ管の働きを活発化させていくことが重要です。そこで重要になるのが効果的なストレッチ(上図)です。肩を前後に回すや足首を前後に伸ばす等がむくみの解消において、大変有効です。奈良医大附属病院リンパ浮腫外来では、リンパ浮腫に悩む患者さんにリンパドレナージ(手を用いて行うリンパ排液マッサージ療法)等を効果的に使用し、複合的治療を提供しています。そんな症状に心当たりのある方は、まずは、かかりつけ医にご相談ください。

あなたの健康パートナー『かかりつけ医』をもちましょう

●「かかりつけ医」って？

皆さんの日常的な診療や健康管理をしてくれる、必要な時は専門医へ紹介してくれる、そんな地域の身近なお医者さんです。

診療を受けられる際は、まず身近な「かかりつけ医」を受診いただき、高度で専門的な医療が必要となった場合は、「かかりつけ医」の紹介により奈良医大が責任をもって対応します。

公開講座

第8回リウマチ市民公開講座

平成29年7月2日(日) 13:00～ 王寺町地域交流センター リーベルホール

テーマ：「ともに歩もうリウマチ治療」他

講演者：奈良県立医科大学附属病院 リウマチセンター 原 良太 診療助教 他

申込

事前申し込み必要(参加無料)

奈良県立医科大学附属病院 リウマチセンター TEL：0744-23-9972(直通)

奈良新聞社企画部

TEL：0742-32-2771

奈良県立医科大学公開講座「くらしと医学」

平成29年9月16日(土) 13:00～15:30(予定) 橿原文化会館 大ホール

本学では、広く県民の皆様を対象に、健康の維持・増進や日々のくらしに役立てていただくことを目的として、「くらしと医学」をテーマにした公開講座を年2回開催しています。本学教員が、日頃の研究成果や病気にまつわる話題等をわかりやすく解説します。

※講演内容等詳細が決まり次第、下記HPにてお知らせいたします。

〈これまでの講演テーマ〉

「認知症予防」、「脳卒中予防・早期発見」、
「更年期障害」、「がん化学療法」、
「がん検診」、「食事とがん」、
「食品の安全」、「健康・長寿の秘訣」など

問い合わせ

事前申し込み不要(当日受付)

奈良医大総務課 TEL：0744-22-3051(内線：2206・2297)

〈公開講座等紹介ホームページ〉 <http://www.named-u.ac.jp/university/gaiyo/kokaikoza/index.html>
上記以外にも、ご参加いただける公開講座等の情報を随時掲載していますので、ぜひご覧ください。

♪ 第27回院内コンサートを開催しました ♪

奈良医大では、連携協定を締結した同志社女子大学の協力を得て、定期的に院内コンサートを開催しています。

平成29年2月21日(火)に第27回目として、同志社女子大学のみなさんによる「トリコロールアンサンブルコンサート」を開催しました。

曲目は「愛の挨拶」や「花は咲く」、ディズニー曲などみなさんが一度は耳にしたことがある曲がたくさん演奏され、参加された方は大変喜ばれていました。

コンサート終了後、参加者代表より演奏者へ花束の贈呈があり、会場は笑顔と拍手に包まれ、とても穏やかな時間となりました。

奈良医大では今後も引き続き、来院された方や入院されている患者さん等を対象に同志社女子大学の協力のもと院内コンサートを定期的に開催する予定です。

開催日等については、院内の掲示板で紹介していますので、ご興味のある方は、ぜひ参加してください。

問い合わせ

奈良医大附属病院 病院管理課

TEL：0744-22-3051(内線：3238)



演奏する同志社女子大学のみなさん

「奈良医大キャンパスだより」の内容に関する問い合わせやご意見等ございましたら、右記までご連絡ください。

公立大学法人奈良県立医科大学 総合企画局 総合企画室
〒634-8521 奈良県橿原市四条町 840
TEL 0744-22-3051(内線 2803, 2804)
Mail kihonkoso@named-u.ac.jp